

令和4年度 第1回総合教育会議録

日 時 令和4年4月11日（月）午後2時00分から午後3時20分まで
場 所 本庁舎3階 第1・第2・第3委員会室
出席者 小林市長、宇野教育長、鈴木英夫教育長職務代理者、野尻正人教育委員、
白須康子教育委員、山崎亜由子教育委員、矢光重敏教育委員
天野総務部長、横瀬企画財政課長、杉本企画担当リーダー、企画担当佐藤、
奈良教育次長、坂本社会教育課長、
藤本学校教育課学校づくり担当リーダー
傍聴者 新型コロナウイルス対策のため傍聴人なし

市長挨拶

本日、大月市総合教育会議の開催にあたり、教育委員の皆様には日頃から、本市教育行政の推進に御尽力をいただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

新型コロナウイルスの流行から2年以上が過ぎましたが、現在も感染者数が下がりきらない状況が続いており、このまま第7波到来も心配されているところであります。

このような中でも、持続的に児童生徒等の教育を受ける権利を保障していくため、学校における感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減した上で、学校運営を継続していく必要があり、感染症対策と教育活動の両立に大変な御尽力をいただいている教職員の皆様に対しても、心から感謝を申し上げます。

さて、本市における独自の取組として「大月っ子学習サロン」を実施しており、教員OBの皆様にご協力いただきながら、放課後を使って月2回程度開催し、学習意欲の向上及び学習習慣の定着に取り組んでおります。

夏休み中に実施する「大月サマースクール」については、昨年度は実施することができ、各小中学校の7会場において300名を超える児童・生徒が参加しました。実施日にはスクールバスの運行も行い、夏休み中の学習の場や学習意欲を高める機会を提供しました。

そして教育環境の整備として、鳥沢小学校プールが8月に完成し利用を開始しました。猿橋小学校においては、スクールバス乗降時の安全確保のため、バス乗降場所の整備を行いました。

また、新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金を活用し、鳥沢小学校のトイレ改修、各小中学校の水道蛇口の自動栓化及びレバー栓化も行いました。

さらに、国のGIGAスクール構想に沿って令和2年度に導入した、児童生徒一人一台パソコンや電子黒板の本格運用を開始しました。今後、ICT教育をさらに推進し、「個別最適化され、創造性を育む教育」を実現したいと考えております。

そんな状況ではありますが、本年度も、皆様のお力をお借りして、市内の児童・生徒がより良い教育環境で勉学に励めるよう努めるとともに、教職員、保護者、地域の皆様とともに、特色あるふるさと教育の推進に努めて参りたいと考えております。

本日の議題は、「令和4年度学校教育の指針」についての1件であります。活発なご意見をいただき、ご審議のほどお願いしまして、あいさつとさせていただきます。

本日はよろしくお願いたします。

教育長挨拶

改めましてこんにちは。本日はよろしくお願いたします。それでは一言ご挨拶を申し上げます。

4月7日に、おかげ様で葉桜ではなく満開の桜のもとで、入学式を7校で行うことができました。新しいスタートを切っております。

さて、教育界では黄金の一週間という言葉があります。新学期が始まって新しいクラス、新しい先生、新しい友達との出会いがある年度の最初の一週間は指します。「今年こそは！」と子供たちのモチベーションが最高に高まっている時です。昨年までの失敗や後悔も少しリセットされて、なおさら張り切っている時です。先生方の指導が染み込む時です。大月市の子供たちも、新鮮な気持ちで学校に顔を向けています。

そんな子供たちにならって、2期目を迎えた私も新しい気持ちで、感染症への最大限の対策をしながら予定された教育活動を行い、自ら学ぶ力を身につけられるよう、そして子どもたちの笑顔が沢山見られる日々となるよう、学校と緊密に連携して参ろうと思っております。

この後、令和4年度大月市学校教育指針について審議をしていただきますが、たくさんのご意見をいただく中で、内容がさらに掘り下げられ、共有できれば有難く存じます。どうぞよろしくお願いたします。

議 事

(1) 令和3年度大月市学校教育の指針について

説明者 宇野教育長

【内容】

「令和3年度 大月市学校教育の指針」について説明があった。

【協議結果】

協議の結果、原案のとおり承認された。